

事業シート(令和4年度予算)

01_企画課_1

事業名	20900 総合計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	・誰にもやさしいまちづくり(住む人が住みやすく、また、住みつけたいと思うまちが、訪れる人にとっても訪れやすいまち)への取り組みを強化し(条例の改正、ハード・ソフト事業の強化)、様々な障がい(認知症、発達障がい、LGBTなども含む)で支援や配慮を必要とする方々が暮らしやすいまちを目指します。	
			款	2	総務費		まちづくり戦略				
			項	1	総務管理費		根拠計画				過疎地域持続的発展計画
			目	9	企画費						
担当課	企画部 企画課	内線	2434								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する。 近隣自治体と連携して共通する課題に取り組む。 年齢、性別、障がいの有無などに関わらず誰もが安心して暮らせる環境を整える。 地方創生を推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート、事業評価、実施計画ローリング等により総合計画の進捗管理を行う。 県及び飛騨3市1村が連携して飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業を実施する。 ユニバーサルデザインに配慮された施設の認定や啓発資料の活用等により、誰にもやさしいまちづくりを推進する。 SDGs未来都市計画に基づく各種取り組みを実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	54.1%		↗
誰にもやさしいまちづくり条例に基づく認定件数(累計)	75件		100件
事業評価の実施	372事業		—

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,995	7,572	9,505			
特定財源						
国費()						
県費(SDGs推進事業費 1/2)						
その他()						
一般財源	9,995	7,572	9,505			
個票枝番	主な事業内容					
	総合計画の推進	684	335	574		
	誰にもやさしいまちづくりの推進	448	142	308		
	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会負担金	7,900	6,358	7,900		
	児童生徒等の重大事態調査委員会	165	223	165		
◎ 1	SDGsの推進					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		16,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,286	17,286	15,886	6,381	
4,000	4,000	3,300	3,300	
13,286	13,286	12,586	3,081	
査定額	説明			
474				
308				
7,900				
165				
6,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会(地方創生に関する有識者会議を統合)の開催(1回)、市民アンケートの実施、施策評価・事業評価の実施、第八次総合計画実施計画・財政計画のローリングの実施 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会事業に20,184人が参加・来場 [新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を翌年度に延期] 誰にもやさしいまちづくり条例に基づきユニバーサルデザインに配慮された5施設を認定 市内小学6年生を対象に誰にもやさしいまちづくり学習資料を作成・配付 総合教育会議の開催(2回)、児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(1回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 第八次総合計画前半の施策評価を実施し、公表した。 新型コロナウイルス感染症の影響による総合計画の見直しについて、総合計画審議会にて基本計画の見直しは不要であり、必要な事業について実施計画のローリングにおいて検討することを確認した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 第八次総合計画及び各種計画に掲げる施策の着実な推進を図る。 誰にもやさしいまちづくりの更なる推進に向けた取組みの検討を進める。 高山駅西地区のまちづくり構想(仮称)の策定を進める。 市が負担する各種協議会への負担金について、参加の是非を含め見直しを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの推進に必要な経費を計上 全国水源の里連絡協議会からの脱会
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 要求どおり
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの推進に必要な経費を精査

01_企画課_1

20900

主要事業個票(令和4年度予算)

事業名	20900 総合計画推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	会計	1	一般会計	担当課	企画部 企画課
枝番・内容	1 SDGsの推進		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充	款	2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費		
			<input type="checkbox"/>		目	9	企画費		
								内線	2436
								作成年月	R4.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・豊かな自然資源と歴史的な文化資源の活用により、地域経済の発展と持続可能性を高め、国内外から愛されるまち(国際観光都市)を目指す	概要	・多様なステークホルダーとの連携、自立的好循環の具体化に向けた取り組み、将来的な自走に向けた取り組みの実施
----	--	----	---

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	6,600
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		6,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs未来都市計画に掲げる三側面「経済」「環境」「社会」と繋ぐ飛騨高山SDGsパートナーシップセンターを核とした様々なステークホルダーと連携した取り組みにより、SDGsの積極的展開を行う 研修・セミナー、シンポジウムの開催 啓発資料の作成 私なりのSDGs宣言の普及促進 など
[スケジュール]	

事業シート(令和4年度予算)

事業名	20930 大学連携推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・小中学校・高等学校が大学と連携できる機会(小中学生や高校生と大学生が一緒に地域のことを考える機会など)を強化し、教育の高度化を図ります。 ・関係人口(高山市に関わりを持ち、短期間でも居住する人口=大学生、企業インターンシップ、研究者、他)増加による地域活性化を目指します。ほか
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	1	総務管理費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画		
			目	9	企画費						
担当課	企画部 企画課	内線	2436								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携の強化を図り、若者(市外学生)のUIターンや地元定着を促進する。 大学の持つ高度かつ専門的な知見を活用し、当市における政策形成能力を向上させる。 大学連携による地域産業の活性化やブランド力の強化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターの設置・運営に対する助成 大学連携センターへの調査研究業務の委託 連携大学等との検討会議の開催 連携大学等が活用できるサテライトキャンパスの設置・運営 産学官連携による新製品開発等に対する助成
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	18,682	15,218	17,200			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	9,100	9,100				
一般財源	9,582	6,118	17,200			
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	大学連携センターに対する助成	11,600	10,100	11,100		
	大学と連携した調査	5,000	3,700	4,000		
	サテライトキャンパスの設置・運営	1,962	1,418	1,980		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		20,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,250	14,250	17,750	550	
14,250	14,250	17,750	550	
査定額	説明			
12,000				
4,000				
1,680				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 大学活動を誘致する大学コミッション事業により24大学、大学教授や学生を214人受け入れ、コロナ禍における取組みとして実施したリモートによる講義・報告会に205人が参加 多文化共生やSDGsの推進に向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 飛騨地域をフィールドに調査研究を行う大学関係者や地元高校生が集い、研究成果等を発表する「第2回～繋がるキャンパス～飛騨高山学会」を開催 来場者約200人、ライブ映像視聴者延べ約340人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターによる大学活動への支援により、高山への呼び込み及び大学関係者と市民との繋がりを行うことができた。 大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 飛騨高山学会の開催により、研究成果等が広く共有されるとともに、大学の教員や学生、地元高校生、企業など参加者相互の交流・連携が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、大学活動の誘致や大学と連携した調査研修、市の施策形成への活用を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・大学と連携した調査に必要な経費を計上 ・大学等のゼミ合宿に対する助成を観光費より移行

主要事業個票(令和4年度予算)

事業名	20930 大学連携推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	企画部 企画課
枝番・内容	1 大学連携センターに対する助成		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R4拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2436	
		<input type="checkbox"/>		目		9	企画費	作成年月	R4.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・豊かな自然資源と歴史的な文化資源の活用により、地域経済の発展と持続可能性を高め、国内外から愛されるまち(国際観光都市)を目指す	概要	・飛騨高山大学連携センターの運営に対する助成 ・産学金官連携による新製品開発等に対する助成(市内中小企業者等が大学等や金融機関と共同で行う新製品又は新サービスの研究開発) ・大学等のゼミ合宿に対する助成(市内で行われる大学等の調査研究のために行う演習(ゼミナール)や研修会、スポーツ活動や文化活動等の練習活動)
----	--	----	---

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	11,600
	繰越	
	補正等	
	最終	11,600
決算額		10,100
対前年度増減額(決算)		811

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	11,100
主な経費	繰越	
	補正等	
	最終	
	決算額	
対前年度増減額(当初予算)		△ 500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	繰越	
	補正等	
	最終	
	決算額	
対前年度増減額(当初予算)		900

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>【事業実績】</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学活動を誘致する大学コミッション事業により24大学、大学教授や学生を214人受け入れ、コロナ禍における取組みとして実施したリモートによる講義・報告会に205人が参加 多文化共生やSDGsの推進に向けた取組みなど、大学の高度で専門的な知見を活用した自治体シンクタンク事業を推進 <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績 1件 <p>【評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学連携センターによる大学活動への支援により、高山への呼び込み及び大学関係者と市民との繋がりを行うことができた。 大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上や課題解決に向けた取組みを進めることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>【事業内容】</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高山市における大学連携の着実な推進を図るため、大学連携センターの運営に対する支援を行う ○大学連携センターの事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ①自治体シンクタンク事業 <ul style="list-style-type: none"> 大学が保有する高度で専門的な知見を活用した調査・研究活動を実施 ②大学コミッション事業 <ul style="list-style-type: none"> 大学が実施するフィールドワークやゼミ合宿、インターンシップなどの様々な活動を積極的に誘致するとともに、その活動を支援 <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業が大学等や金融機関と共同し、又は異業種グループを組織し行う新製品・新サービスの研究開発の費用に対する支援を行う 	
【スケジュール】	

事業実績・評価等	
<p>【事業実績】</p> <p>【評価等】</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>【事業内容】</p> <p>《大学連携センターの運営に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高山市における大学連携の着実な推進を図るため、大学連携センターの運営に対する支援を行う ○大学連携センターの事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ①自治体シンクタンク事業 <ul style="list-style-type: none"> 大学が保有する高度で専門的な知見を活用した調査・研究活動を実施 ②大学コミッション事業 <ul style="list-style-type: none"> 大学が実施するフィールドワークやゼミ合宿、インターンシップなどの様々な活動を積極的に誘致するとともに、その活動を支援 <p>《産学金官連携による新製品開発等に対する助成》</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業が大学等や金融機関と共同し、又は異業種グループを組織し行う新製品・新サービスの研究開発の費用に対する支援を行う <p>《ゼミ合宿に対する助成(R4拡充)》</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等や大学生の視点による地域課題の解決や市内での潜在による新たな飛騨高山ファン(関係人口)の創出などを目的に、市内における活動を促進するため、大学等によるゼミ合宿に対する支援を行う(支援制度の拡充) <ul style="list-style-type: none"> ①補助金額 1人あたり1千円⇒ 1人あたり1泊につき1千円に拡充 ②対象 10人以上 ⇒ 団体内で延べ10人泊以上に要件緩和 	
【スケジュール】	

事業シート(令和4年度予算)

事業名	20940 東京事務所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進		市長公約	・飛驒高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛驒高山ブランド商品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。 ・市役所及び関連機関が主体(企画・運営)となって、飛驒高山ブランドをPRする展示会などを大都市圏で開催します。
	款	2	総務費		まちづくり戦略								
	項	1	総務管理費		根拠計画								
	目	9	企画費										
担当課	企画部 東京事務所	内線	2434										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化を図る。 ・国内外での地場産品の販路拡大、飛驒高山ブランドの強化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		9,070	6,881	9,070			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(職員派遣事業雑入)		600				
一般財源		9,070	6,281	9,070			
個票枝番	主な事業内容						
	運営費	4,870	2,681	4,870			
	政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,683	8,640	8,640	△ 430	
8,683	8,640	8,640	△ 430	
査定額	説明			
4,440				
4,200				

※入札に影響するため公開に通さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進関係 ※新型コロナウイルスまん延に伴う緊急事態宣言の発令等により各種イベント中止イベントでの誘客PR(4件)、メディアでの情報発信(1件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 新規販路開拓(4件)、飛驒高山フードバリアフリー協議会設立支援、販路開拓支援など ・交流促進関係 千代田区相互連携協定に基づく事業調整(3件)、企業誘致(1件)、移住相談、在京の飛驒地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(29件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ115回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所は、職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を生かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能している。 ・政策顧問は、高度な知見を生かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を生かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていただいている。 ・新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ情報収集・発信に努めるとともに、ポストコロナを見据えた活動を行っている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における「飛驒高山ブランド戦略」等の各種取り組みを推進する。 ・経営資源(人、情報)を効果的に各種施策に活用する。 ・ポストコロナ社会を見据えた情報収集・発信に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度予算)

01_企画課_6

事業名	20960 若者等活動事務所管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	総務管理費		根拠計画			
			目	9	企画費					
担当課	企画部 企画課	内線	2434							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山への誇りと愛着を育む。 伝統的建造物群保存地区及び周辺の景観に配慮された美しい町並みを維持する。 	概要	・村半(若者等活動事務所)の管理運営を行う。
----	---	----	------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,200	4,049	4,890			
特定財源						
国費(若者等活動事業費 1/2)		1,849				
県費						
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	3,100	1,024	3,000			
一般財源	2,100	1,176	1,890			
個票枝番	主な事業内容					
	施設の管理運営	5,200	4,049	4,890		

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,800	4,800	4,800	△ 90	
2,400	2,400	2,400	2,400	
	1,000	1,000	△ 2,000	
2,400	1,400	1,400	△ 490	
査定額	説明			
4,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<p>若者等活動事務所(通称:村半)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月1日開所 [新型コロナウイルス感染症の影響により、開所を当初4月から7月に延期、オープニングセレモニーは中止] 来所者数 延べ15,259人(1日平均66人) 利活用検討会の開催(5回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校生や大学生の自主学習やリモート授業での利用のほか、若者が自発的に活動している各種プロジェクトの打合せなど様々な目的で利用されている。 全建賞の受賞や県内外からの視察も多くあり、市のPRの場所としても活用が図られている。 地域の方々には施設の利用をはじめ、施設内の植栽等への助言や、地域の季節行事に参加させていただくなど、良好な関係を築くことができている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更なる利用促進を図りながら、引き続き適切な管理運営を行う。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

01_企画課_6

20960

事業シート(令和4年度予算)

01_企画課_7

事業名	25100 統計調査事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性		市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	5	統計調査費				
			目	1	統計調査総務費		根拠計画		
担当課	企画部 企画課	内線	2434						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 統計的視点から市の現状を理解する。 統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する。 政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する。 各種統計における高山市に関する数値を取りまとめ、「高山市のあらし」として公表する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	140	97	140			
特定財源						
国費()						
県費(統計調査員確保対策事業費)	27	0	27			
その他()						
一般財源	113	97	113			
個票枝番	主な事業内容					
	事務費	140	97	140		

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	-	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
140	140	140	0	
27	27	27	0	
113	113	113	0	
査定額	説明			
140				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為、統計調査員研修会未開催 「高山市のあらし」の印刷・発行(150部)、市ホームページでの公表
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種啓発により統計調査員を確保することができた
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する。 「高山市のあらし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

01_企画課_7

25100

事業シート(令和4年度予算)

01_企画課_8

事業名	25200 諸統計調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	5	統計調査費				
			目	2	諸統計調査費		根拠計画		
担当課	企画部 企画課	内線	2434						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	・国・県が実施主体となる各種統計調査を実施する。
----	---	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	700	629	6,000			
特定財源						
国費()						
県費(経済センサス委託費、工業統計調査委託費 等)	700	629	6,000			
その他()						
一般財源		0				
個票枝番	主な事業内容					
	就業構造基本調査					
	住宅・土地統計調査					
	150	13	6,000			
	経済センサス					
	550	616				
	工業統計・岐阜県輸出関係調査					
	国勢調査					
	全国家計構造調査					
	農林業センサス					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,334	2,310	2,310	△ 3,690
2,334	2,310	2,310	△ 3,690
査定額	説明		
1,590			
710			
10			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・経済センサス ・工業統計 指導員2人・調査員20人
評価等	・評価対象外
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・各種調査の要領等に基づき、適正に調査を実施する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・就業構造基本調査業務等の円滑な実施に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

01_企画課_8

25200